

下は全競技終了後 Web 上に公開される採点の詳細の一例です。

Rank	Name	NOC Code	Total Segment Score	Total Element Score	Program Comp Score (fact)
2	Emanuel SANDHU	CAN	78.41	41.87	3

#	Executed Elements	Base Value	GOE	The Judges Panel (in random order)											
1	4T+3T	13.0	0.57	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	1	
2	3A	7.5	0.71	0	0	2	2	1	1	0	0	1	0	1	
3	FSSp4	3.0	0.43	1	1	2	0	1	0	1	1	1	1	1	
4	3Lz	3.0	-3.00	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	
5	CiSt3	3.1	0.64	1	2	1	0	1	1	1	2	1	1	1	
6	CCSp3	2.1	0.50	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
7	SiSt3	3.1	0.79	1	1	1	1	1	2	2	2	2	0	2	
8	CCoSp3	3.0	0.43	1	2	2	1	1	0	1	1	2	0	1	
		40.8													
Program Components		Factor													
Skating Skills		1.00		7.50	7.25	7.00	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	8.00	7.50	7.75	
Transition / Linking Footwork		1.00		7.25	7.00	7.25	7.25	7.50	7.25	7.50	7.00	7.50	7.00	7.25	
Performance / Execution		1.00		7.50	7.25	7.50	7.75	7.75	7.25	8.00	7.25	8.25	7.25	7.50	
Choreography / Composition		1.00		7.50	7.50	7.50	7.50	7.75	7.25	7.75	7.50	7.75	7.50	7.75	
Interpretation		1.00		7.25	7.50	7.50	7.50	7.75	7.50	8.00	7.50	8.25	7.00	7.75	
Judges Total Program Component Score (factored)															
Deductions:		Falls: -1.00													

詳しいことは採点結果の見方に委ねるとして、ここでは採点の流れを説明します。

審判団は、レフェリー1人、技術専門審判3人、ジャッジ数人で構成されます。ジャッジの数は大会によって異なりますが、最大で12人です。

まず、選手が特定の技(要素、エレメンツ)を行うと、技術専門審判がその技を見極めて判定します。上の例では(1)に当たります。要素には、ジャンプのように回転数で評価されるものもあれば、レベルとして評価されるものもあります。

続いてジャッジが、判定された技の出来具合(GOE)を-3、-2、-1、0、1、2、3の7段階で評価します。上の例では(4)に当たります。この競技ではジャッジが12人いたので、評価も12人分、12列あります。特にミスについては、ガイドラインで細かく指示されています。

特別な減点(ディダクション)については、転倒は技術専門審判が、その他はレフェリーが判定します。上の例では(10)に当たります(右端はその合計)。

演技が終わった後、ジャッジは演技全体の評価(構成点)を10点満点で採点します。上の例では(8)に当たります。(6)はその採点項目ですが、これは競技ごとに固定されています。

あとは(コンピューターが)集計するだけです。